

コロナ禍で組合員が・・・ CU文京支部がアンケート

一人が雇止め、一人が4・5月休業・・・

CU文京 書記長 山田三平

文京支部では、日常的な連絡の取りにくい組合員が、このコロナの影響で困った事になっていないかと、3月発行した組合ニュースでアンケートを取りました。受取人払いの封筒を使い、ごく簡単な質問をしたのですが、14人の回答がありました。一人「雇い止め」があり、あと一人は4月、5月と完全休業で、給与が8割と通告された組合員もいました。その他は、影響はあるが、なんとか凌いでいけるという回答でした。

ただアンケートでの回答はよせてこなかった組合員の中にも、困難に直面している人もいると思われ、さらに連絡をしなければと考えていますが、思うように進んでいません。何しろこんどのコロナ禍による事態は初めてのこともあり、「休業させる」と言うのも要求になるわけで、それに伴う休業手当について利用できる雇用調整助成金の特例なども日々変化し、理解するのも大変です。

コロナの影響による相談が6件入る

すでに、このアンケートの取り組み以前に、退職勧奨をうけた組合員から相談が入り、対策に乗り出しています。まずは東京都の労働相談情報センターの指導をお願い（4/21写真・右上）したのですが、不調に終わり、団交を申し入れ、5月15日に団交がもたれます。あわせて、やはりコロナの影響による労働相談が、6件ほど入りこちらの対応も始まっています。

労働組合として試されている

今度の事態は、CU東京にとって、労働組合として試されているのではないかと気がします。組合加入の動機は労働相談であったものの、それが解決したあとでも組合員でいてくれている人たちがここで労働組合の出番を期待しているのであれば、何とか応えなくてはならないのですが、あまりに広範囲に起こっている事態なので対応しきれないのではないかと心配です。



CU文京は、コロナの影響で活動が制限されていますが、組合員の加入が止まりません。21日には2人の加入書が届きました。現在、組合員120人に迫っています。

みなさん元気ですか！

メーデーの集会はできませんでしたが、三多摩の執行委員・中山倫子さんがパネルをつくり激励しました。



コロナ禍の中 4名の組合加入

CU江戸川 書記長 新木 輝代

3月下旬から、20件近い労働相談（電話相談）がありました。パワハラ・セクハラなどや一方的不利益変更、コロナ禍に関連した不当な行為などが主な内容です。その中で4名がCU東京江戸川支部に加入しました。

医療法人で働いていたAさん（25歳女性）は上司のパワハラにより、出勤できなくなりました。団体交渉（以後団交）を申し入れ、2回の交渉の結果、Aさんが望む以上の金銭解決ができました。

介護職場のBさん（53歳女性）は、会社から一方的に出向を命じられましたが、組合加入通知と団交申し入れ書を送達したところ、即座に出向を撤回してきました。（団交は延期）

上司の犯罪ともいえるセクハラを受け、その後も職場環境が改善されないことで出勤できなくなったCさん（25歳女性）は、組合に加入、団交を申し入れた事で、相手方代理人弁護士からも傷病手当受給の提案があり、受給しながら心身の回復に向けています。（団交は延期）

派遣労働者のDさん（47歳男性）は、派遣先の直接雇用者はテレワークになり、派遣社員だけ出社させる差別的扱いを受けています。Dさんは基礎疾患を抱えているため、三密になる職場（テレホンセンター）での労働環境に不安を持ち、有給休暇を取り、有休を使い果たした現在は欠勤扱いになっています。組合に加入し、派遣元に改善と休業補償（雇用調整助成金を使う）を求め、団交を申し入れましたが、会社は団交を拒否していますので東京都労働委員会にあっせん申請を行いました。

組合に加入した方々は「組合が出てきた」事で上司、経営者の態度が変化する事に驚いていま

す。相談者の中には、組合に入る事をためらう方もいますが、組合に入って闘う事の優位性を伝えていきたいと思います。

リモート団交を経験して

川村 好正（地域労組こうとう・書記長）

4月27日（月）と5月14日（木）、カメラ付きノートパソコンを使った「リモート団交」を行いました。27日はスカイプというマイクロソフトのアプリを使い、14日はグーグルミートというアプリを使用しました。



2回とも江東区労連事務所で、地域労組こうとうにある2台のノートパソコンでテストを事前に行っていました。

27日の団交は、中村・区労連事務局次長、松井・地域労組こうとう書記次長、当事者と川村の4人参加。事案の内容は「ジム経営の会社のトレーニングジムに、請負でインストラクターとして働いているが、コロナの影響で就業日が減らされたので補償して欲しい」というのが要求。当事者の実態は、タイムカードもあり残業もついているので「個人事業主ではなく労働者」。先方は総務部長と弁護士が団交に出席しましたが、労働者性を巡っては平行線で、「持続化給付金」を請求することで終わらざるを得ませんでした。

14日の団交は、中村・松井・川村と当事者の4人が組合側、先方は派遣会社の役員二人。この事案は、ハウステンボスに派遣されて働いていた当事者が、コロナで休業になる前に5月末までの雇用延長をハウステンボス側に申し出ていたにもかかわらず、派遣会社とハウステンボス側の連絡の行き違いで3月末に雇止めとなった相談。団交では、当事者から経過を説明し、派遣会社の不十分さを追及した結果、派遣会社がハウステンボスと事実関係を調査した上で再度団交を行うことになりました。

リモート団交は、音声がかぐもり、しかもタイムラグが生じるため、こちらの主張を相手が十分くみ取っているのか、表情で確認しづらいという問題があります。アプリは、グーグルミートはいまいち。当たり前だが、対面の団交の方が、話が早いと言えます。



あつという間に13人増えて

C U品川 書記長 佐藤盛雄

7人増やすの大変だなー

拡大月間が提起され、「7人増やすの大変だなー」と3月の執行委員会で議論になったが、4月末にはあつとゆう間に13人増えてしまった。

一人は、障害者施設で7年働いていた女性が雇い止めに合い、区議の紹介で相談に来て加入、1回の団交で解決金支払いで解決。もう一人は、大手の派遣会社で障害者枠で3ヶ月の繰り返し雇用が3年続いていた、女性が雇い止めされ、区議の紹介で来所。早速加入してもらい4月に団交を申し入れ。ところが、新型コロナを理由に団交は1ヶ月も延ばされたが、第1回の団交で取締役以下3人が出てきたので、一気に解決を狙い、解決金をこちらから提示し、検討すると回答を得た。その後、合意確認書締結に向け進んでいる。

工場閉鎖に伴う全員解雇の相談

4月中旬に7人が加入した、工場閉鎖に伴う全員解雇では、有名な洋菓子店を経営する会社の案件です。解雇された労働者に全員集まってもらい、話を聞き、組合の説明もし、加入して貰いました。早速団交を申し入れに行きましたが、この時期に来たのがいけないと、電話で社長室長から言いがかりつけられました。

第1回の団交では7人全員と川村副委員長にも出してもらい、組合として「整理解雇の4要件」を満たしていない不当解雇であると主張した。会社側は1人で譲渡された前の会社の事を話し、本題には入らない態度を繰り返した。この会社は、週刊新潮にも取り上げられ、お家騒動も絡んでいると思われます。公的機関も含め解決目指しますので、ご支援をお願いします。

舞台上皆さんにお会いしたり、 元気に活動できる日が早く来るように

青年劇場 湯本弘美

存続していくことも危ぶまれる状態

青年劇場では、私が出演する「水曜日、ゆらゆるりん」の公演を5月22日より予定していましたが、やむなく延期することにしました。延期と言っても劇場は1年から2年先まで予定が決まっているため、今のところ予定は立っていません。

演劇にはチラシなどのデザインや印刷、照明や音響、劇場などのスタッフや機材、大道具を考えれば材木屋さんなど多くの職種の人が携わります。チケット収入や上演料が入らなければ、その経費は劇団の大きな負担となり、新しい作品を生み出せない上に存続していくことも危ぶまれる状態です。そもそも日本における文化への助成は諸外国に比べて少ないです。その窮状を演劇界からも発信していますが、応援も寄せられる一方で「おまえだけが特別じゃない、傲慢だ」などバッシングの声も見られ、人の分断が進んでいることにも危惧を感じます。

芝居は、人間同士のあたたかい交流を軸にして成り立つものです

今できることは業種にかかわらずみんなでスクラムを組み、補償や助成が必要と声を上げていくこと、経済優先の方針のもとに削られた医療福祉制度や非正規労働の実態を改善し、明日への希望をどうやって繋げていくかを考えていくことではないでしょうか。芝居は、人間同士のあたたかい交流を軸にして成り立つものです。今一番辛いのはその交流を控えなければならないということです。公演は延期になりましたが作品創りは続けており、リモート稽古とってインターネットで繋げて、それぞれ自宅で画面を見ながら台本の読み合わせをしています。また舞台上皆さんにお会いしたり、元気に活動できる日が早く来るようにと願う毎日です。（湯本さんはCU文京支部で書記次長を担って頑張っています）



安倍9条改憲NO!
改憲発議に反対する
全国緊急署名

あなたも協力を!

コミュニティユニオン東京 第12回定期大会

2020年7月12日（日）ラパスホール
13時30分～17時00分

大会を予定通り開催します。この間、第12回定期大会を上記のように決めていましたが、新型コロナウイルス感染の広がり、緊急事態宣言などの推移をみて判断するとしてきました。宣言が解除されましたので、上記の通り開催します。大会代議員数は、三役会議で相談した案を執行委員の皆さんにお知らせし、決定していくことにします。

「コロナ解雇」と言われる 相談増えています

本部書記次長 宮本一

「コロナ解雇」と言われる相談が増えています。この間の相談者では着物リサイクル会社がコロナ不況により民事再生手続きをし、パート勤務社員を即日解雇とした件、リユース品の海外輸出会社がコロナで港が閉鎖となり経営悪化、10年間勤務したが口頭で突然解雇言い渡された件、ウエディングドレスレンタル会社がコロナで会場閉鎖となり、パート勤務者を解雇とした件などの相談が来ています。



それぞれ、労働者に対して説明を尽くさず突然解雇したりと、相談者は全員が「納得できない」と相談に来られています。このような相談者に対し、複数で事実関係をよく聞き取って資料もそろえて、事業者への要求書の作成、団体交渉へとつなげています。また、コロナ禍でのフリーランスという個人請負労働者からの相談も出てきました。これらの相談では労働者性の証明が困難な場合が多く、また仕事が切られて経済的にも困窮している場合も多く、解決に困難がでています。緊急事態宣言中、会場確保などの困難もあって対応が難しい場合もあります。「駆け込み寺」としての機能をどう果たしていくのか、相談活動をすすめましょう。

ハッシュタグって何？

SNSその2 副委員長 高島素昭

検察の私物化を狙う「検察庁法改定案」をめぐる、世論が急速に盛り上がり、今国会での提案取下げに追い込み、話題になったのはSNSです。中でも「ツイッターデモ」



といわれ、緊急事態宣言中行動が困難な中、「#検察庁法改正案に反対します」というツイッターが始まり、短い間に470万を超える反応がありました。

?# (ハッシュタグ) って何？

ツイッター上の#マークを「ハッシュタグ」といいますが、楽譜にある半音上げるといふマークとほとんど同じ。しかし役割は異なっていて、特定のキーワードを投稿に関連付けさせるために利用します。ブログにも利用、当行のカテゴリを目的としています。海外では呼び方も「#」シャープではなく「ハッシュキー」と呼ばれています。

さて、ハッシュタグとは、膨大なツイッターやフェイスブックなどで、同じ趣旨の投稿がどれくらいあるかということを検索しやすくするために着けます。つけ方はキーワードの先頭に (#) を付けます。*なお詳細は解説本など参考にしてください。*洋泉社の「LINE, Facebook, Twitter, Instagramのわからない! を全部解決する本」を参考にしました。続いて他のものの紹介します。

(紙面上一部掲載できず、次号に掲載します)

■新型コロナは様々な分野に影響を及ぼした。政策が混乱と対策の遅れをもたらした。アベノマスクは必要とする分野に財源を回さず、不良品、検品、さらに費用がかさみ、いまだ国民に届かない。■世論に押され一人10万円給付に転換、この機会にマイナンバーを使ったオンライン申請をこり押し、医療体制はじめ、各助成金申請におわれる自治体にさらに負担が、ついにオンライン申請の中止の自治体が続出。■コロナの影響で労働相談が増えている。今号は関連した原稿を寄せていただいた。接触を避けるということで、リモートで団体交渉も持たれた。SNSについて引き続き紹介した。■青年劇場の湯本さんが声を寄せた。今、聞きたいこと、心に問いかける舞台に、思いを新たにす。連帯し頑張ろう。